

# 亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2020年春の便り号 (通算第44号)

自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173

事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108

ホームページは **亀井たくま** で検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.ne.jp



## 災害に強いまちづくりを! 防災・減災対策強化へ! 動物虐待事件対策強化を! 祐光歩道橋撤去へ!

皆様、いつも市政へのご理解・ご協力をありがとうございます! また、あらためて昨年発生した台風災害(15号・19号・21号)で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。亀井たくまは9月市議会に引き続き、12月市議会でも台風災害を踏まえ、「災害に強いまちづくり」に向けて、12月16日に防災・減災対策など、多くの市政の課題について質問・提案を行いました。今回も内容を厳選・抜粋してお届けいたします。今後も「ひとりひとりを大切にする市政」を目指して、精進していく決意です!

## 防災・減災・災害対策について

Q 台風15号、19号、21号では、公民館を中心に「避難所」が開設されたが、災害発生時や避難所開設時の市民・避難所運営委員会への連絡体制の今後は。

A 今回の災害において、各地の避難所運営委員会との連絡が十分でなかったことは課題と認識しており、今後、連絡体制の強化に向けて、協議を進めていく。

Q 避難所のプライバシー対策や、女性やこどもの安全対策は十分であったか。さらなる対策を。

A 今回の災害では、主に公民館を避難所としたが、部屋割りを男女別にしたほか、授乳室やこどものいる家族用の部屋を設けるなどの対応を行った。今後は小中学校を含めたすべての避難所で同様の対応ができるように、プライバシー・安全対策に取り組んでまいりたい。

Q 特に支援を必要とする「要配慮者」「要支援者」(高齢者や障がいのある方々)の避難等の実態はどうであったか。さらなる対策強化を。

A 民生委員や町内自治会が避難行動要支援者名簿を活用し、安否確認・情報伝達を行ったが、実施した地域が一部であり、関係者間の連携が不十分であったと認識している。課題を踏まえ、すべての地域で取り組みができるよう、対応を図っていく

Q 千葉駅・蘇我駅などの帰宅困難者対策の充実は。

A 10月25日の大雨では、計画運休が行われたことから、千葉駅・蘇我駅周辺(市民会館など)に帰宅困難者用の一時滞在施設を開設し、最大で800人が利用した。情報の周知方法の改善、民間施設も含めた一時滞在施設の増強、帰宅困難者の発生抑制に向けた施策の充実を図っていく。

Q 10月の台風19号では、「ペット避難所」を各区1カ所に増設したことを評価するが、今後の充実は。

A 各区1カ所に開設し、犬26匹、猫26匹を受け入れたが、すべての避難所でペット同行避難ができなかったことは課題と考える。今後も受け入れ方法や飼育ルールについて周知に取り組んでまいりたい。

Q 災害発生時における、市民からのさまざまな相談・問い合わせの体制や対応は十分であったか。今後は。

A 災害発生後は、市民からの相談・問い合わせが殺到したことから、職員を増員して対応にあたった。



市民からの相談は、「停電の復旧見込み」「住宅被害」に関する相談が多かったことから、東京電力から派遣された職員との連携、住宅被害に関する相談窓口設置などの対応を行ってきた。今回の教訓を踏まえ、今後は計画やマニュアルの見直しを行い、体制の強化を図っていく。

- Q 今回の災害では、停電の問題が深刻であった。停電対策・電源対策における「移動電源」の今後は。
- A 今回の災害では、市が備蓄する発電機や、民間事業者から提供のあった電源車等により、停電した施設への給電を行ってきた。今後は、医療施設や福祉施設等の優先度の高い施設へ速やかに配置できるよう、電源車配置の優先順位などを検討するとともに、電源車等を持つ事業者と協定締結を推進していく。
- Q 今回の災害では、「電気自動車」が移動電源として効果的であった。電気自動車の普及促進を。
- A 今回の災害で、「走る蓄電池」としての電気自動車・燃料電池車の有意性を再認識した。地域の防災・減災と低炭素化の実現に向けて、電気自動車導入の助成制度に加え、新たな普及促進策を検討していく。
- Q 今回の災害を教訓に、各地域の避難所運営委員会との連携強化・基盤強化を。
- A 今後、避難所運営委員会へのアンケート調査を実施し、意見を踏まえて、情報伝達や協力体制などについて整理し、情報共有を行う。今後も研修会の実施等を通じて、連携強化・基盤強化を図ってまいります。

## 亀井はこう考える！ 今回の災害の教訓を今後に必ず活かします！

①市民への情報伝達・相談体制強化・・・「テレビで避難情報を知った」「防災無線が聞こえない」「市役所のどこに相談したらいいかわからない」など、多くの声が寄せられました。インターネットをうまく使えない高齢世代の方々など、災害時の情報伝達方法の改善を求めました。また、多くの市民が不安な思いの中で過ごされたと思います。市民からの相談や問い合わせに迅速に対応できる体制を求めました。

②避難所の強化・・・「避難所に行きたかったが、プライバシーや安全対策が心配で、避難するのを断念した」という声が寄せられました。多くの方が避難所に殺到し、ひとりひとりに十分なスペースの確保が難しかった避難所もあったようです。避難所の収容人員・キャパシティの見直しや女性や子ども、ペット連れの方も安心して利用できる避難所運営を求めました。

③避難所運営委員会との連携強化・・・多くの地区で「公民館」が避難所となりましたが、地域によっては、自主的に避難所開設を行った地区(松ヶ丘中地区など)もありました。私の住む椿森中地区では、中学校への避難所開設を目指しましたが、混乱の中で、市や関係機関との連携がうまくいかず、結局開設するに至りませんでした。避難所のあり方、情報共有、連絡体制の構築などの強化を求めました。

④停電対策・非常電源対策の強化・・・今回の災害では、停電被害が甚大であったことから、緊急時の発電機や電源車の配備、電源対策を求めました。また、電気自動車が移動電源として役立つことから、電気自動車の普及促進をはじめ、公共施設への「再生可能エネルギー設備」導入促進を求めました。災害対策と環境保護に資する施策には、今後も力を入れるべきと考えます。

→今後、避難所となるすべての小中学校・公民館へ太陽光発電施設、蓄電池導入が行われます！

このほか、「避難所運営委員会の初動体制のあり方・市との連携」「他の自治体・民間事業者からの受援体制の強化」「一般ボランティアの活用・受け入れ強化」「町内自治会防犯街灯の修理等の申請期間延長」「電柱の倒壊・倒木対策」など、質問・提案を行いました。引き続き、災害に強いまちづくりを進める決意です。

## 安心・安全のまちづくり(動物虐待・祐光歩道橋)について

### 動物虐待について

- Q 2月議会で、「稲毛海浜公園」の動物虐待死事件発生への対策を求めたが、その後の対応と現状は。
- A 地域猫への虐待が相次いだことを受け、警察やボランティアとの連携・警戒強化や虐待防止の周知を行い、本年5月には防犯カメラ3台を設置した。以降、新たな被害は承知していない。
- Q 市内の公園で動物虐待が確実に起きている。市はしっかり把握・対策を。
- A 平成28年以降、稲毛海浜公園9件、花島公園2件の合計11件を把握している。警戒強化・対策を継続する。
- Q 昨今では、青葉の森公園でも虐待事件が発生している。青葉の森公園は県の公園だが、市として対策を。県警との連携強化・対策強化を。
- A 県によれば、虐待と考えられる猫の死亡・負傷事案があり、警察に警らの強化を依頼し、警戒を強化している。本市も県や県警と連携を深めて対応する。動物虐待は重大犯罪で、このたび罰則が強化されたところであり、引き続き、県警・関係部局と連携し、動物虐待防止に取り組む。





## 亀井はこう考える！ — 市内で連続する動物虐待事件を許すな！

全国でも、市内・県内でも深刻かつ残忍な動物虐待事件が相次いでいます。昨今では、インターネット上で動物を殺害する予告をしたり、殺害の様子を画像や動画で投稿する事件が起きています。動物虐待事件は市内の身近な地区の公園でも発生しており、多くの市民の方々から心配の声が寄せられています。なお、今回の12月議会で質問を行った直後にも、「ポートタワー周辺」などで改造銃・鉛弾を使った悪質な虐待事件が連続して発生し、新聞報道もされました。動物虐待事件は人への犯罪につながるリスクがあり、市内で虐待事件が続発していることは問題です。現在、市民ボランティアの方々や亀井もパトロール活動などを行っていますが、市・県・県警への対応強化を強く求めました。

### 「祐光歩道橋」撤去について

Q 「祐光歩道橋」の老朽化が進んでいる。地元より撤去を望む声もあるが、今後の考えは。

A 定期点検の結果、今後大規模な修繕が必要となることから、地元自治会や院内小学校などと協議を行い、撤去に向けた検討を行っていく。

Q 歩道橋撤去の場合、横断歩道設置や歩行者の交通安全対策を。

A 警察との協議では、歩道橋と既存信号交差点との距離が近いと、横断歩道の新たな設置は難しいとの見解が示されている。今後、歩道橋利用者の動向を把握したうえで、撤去後の横断方法などについて、警察と協議するとともに、地元自治会と調整してまいりたい。



## 亀井はこう考える！ — 祐光歩道橋は令和3年頃に撤去へ！

平成25年、地元からの要望を受け、「院内小学校入口歩道橋」撤去を取り上げ、歩道橋の撤去・横断歩道設置等の安全対策が行われました。今回は第2弾として、「祐光歩道橋」撤去を取り上げました。今回も亀井自ら、12時間の交通量調査を行いました。祐光歩道橋は今後、地元・関係者と協議を行い、令和3年頃に撤去する見通しです。高齢者やこどもたちなど、歩行者の交通安全対策の実施を求めました。

## 市制100周年について

Q 2021年に「千葉市100周年」を迎えるが、メディアを活用したPRを。「NHKのど自慢」や「出張なんでも鑑定団」など、テレビ番組誘致を。

A テレビやラジオ番組による発信は、効果的なPR活動と考えられることから、積極的に誘致に取り組む。

Q 「100周年記念」を祝い、千葉市の名所・名物などを紹介・PRする記念切手の販売をしてはどうか。

A 他市の事例を研究し、事業者と協議を行い、実現の可能性について検討してまいりたい。

Q 100周年を契機に、文化・芸術を育む事業の取り組みを。市民が参加できる文化・芸術イベント開催を。

A 「千の葉芸術祭」を開催し、本市のさまざまな場所や文化を被写体とした写真芸術展を行うほか、体験・創造ワークショップ、伝統文化と新たな文化の発信などの企画を実施してまいりたい。

Q 市民意識高揚のため、「千葉市歌」等のさらなる歌唱推進を。100周年を契機に市に関係する歌を集めた「記念CD」の作成や、学校等で歌う機会の積極的創出を。

A 市民意識の向上につながることから、提案も含めて市歌の活用、歌う機会の創出に努めてまいりたい。小中学校では指導方法の改善に努め、学校行事や学級活動にて歌う機会を広げるよう努めていく。

Q ふるさと「千葉市」をあらためて知る・学ぶ機会の創出を。本市の歴史の映像・写真のアーカイブ活用を。

A 今後、市制100周年特設ホームページや市政だよりで広報を行うとともに、千葉市の歩みのパネル展、市民公開講座などを開催する。映像や写真のアーカイブ活用も行ってまいりたい。

## 亀井はこう考える！ — 千葉市100周年を契機にさらにすばらしい千葉市へ

2021年1月1日に、千葉市は市制施行100周年を迎えます。今後、さまざまな取り組みが進められますが、市民の意識を高め、盛り上げる取組みとともに、「NHKのど自慢」「ラジオ体操」などの番組誘致、文化・芸術イベントの開催、市の魅力をPRする「100周年記念切手」の発売、こどもたちへの歴史教育の推進など、提案を行いました。

100周年を契機に、市民が「千葉市」の歴史・伝統を知り、「千葉市民で良かった」と誇りを持つことができる、そんな100周年を目指して、みんなで盛り上げていきましょう！

# 日々精進の記録！ ～写真で見る活動記録～

## 千葉市の災害対策強化へ尽力！

台風15号、19号、21号では本市のみならず、全国で大きな被害が生じましたが、亀井も可能な限り、復旧支援活動に従事しました。市内では家屋の被害、倒木や停電のご相談が多数ありました。今後の対策強化に必ず活かします。また、県内では千葉市の施設がある長柄町をはじめ、房総地域での活動、県外では長野市にて復旧活動に従事しました。災害支援で学んだことを本市の施策に活かします。



全国の復旧支援へ！

## これからも地域の声を提案します！

「祐光歩道橋」(3面参照)の質問にあたっては、11月26日に亀井自ら、12時間連続(7～19時)の通行量調査や利用者へのインタビュー調査を行い、議会質問にのぞみました。また、「歩道橋は必要？ いらない？」との問いに、登下校途中の小中学生もじっくり考えて意見を寄せてくれました。寒い中、コーヒーなどの差し入れもいただきました。ご協力ありがとうございました！



12時間歩道橋調査を実施！

## 弁天地区・千葉駅北口に自転車レーン完成！

弁天地区の皆様と要請活動を続けてきた「千葉駅周辺の『自転車レーン』の設置」が完了いたしました。

今後も市内各地の交通安全対策や防犯対策などを随時進めてまいります！



## 市政へのご意見は。。

TEL/FAX 043-255-8108  
携帯電話 090-3694-4173

携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします！お手紙も大歓迎です！

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>

メール DQG06110@nifty.ne.jp



フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています！ 亀井たくま でご検索ください！

## 亀井たくま(39歳)、日々修行中です！！

1980(昭和55)年3月生まれ。中央区椿森出身・在住。  
・作草部幼稚園 ・都賀小 ・椿森中  
・市立千葉高 ・早稲田大学政治経済学部  
・早稲田大学大学院公共経営研究科修了。  
2007年市議選で21票差で落選。2011年、2015年当選。  
2018年社会保険労務士試験に合格。2019年、3期目の当選。

### 地域での仕事

- ・千葉市スポーツ推進委員・千葉市青少年相談員
- ・院内小、椿森中地区各種団体役員
- ・椿森3丁目・5丁目地区役員
- ・第4地区(椿森中学校区・東千葉地区)自治会連絡協議会理事

- ・行政書士・社会福祉士
- ・精神保健福祉士・愛玩動物飼養管理士
- ・防災士・ホームヘルパー2級

### 議会での仕事

- ・保健消防委員会副委員長
- ・大都市制度・市制100周年調査特別委員会委員
- ・保健所運営協議会委員

### 趣味

- ・明治～昭和の懐メロ。童謡・唱歌。
- ・好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎、三浦洗一。(地域で演奏・茶話会のボランティアしています)
- ・NPO東海林太郎顕彰会理事(本部・秋田市)

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします！

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。  
郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました！